



みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

# 盲導犬くらぶ

公益財団法人 日本盲導犬協会  
発行人 井上 幸彦  
223-0056 横浜市港北区  
新吉田町6001-9  
TEL.045-590-1595  
FAX.045-590-1599  
<https://www.moudouken.net/>



*Memory*

## 盲導犬との歩みが どこまでも続くよう 命を紡いでいきます

協会で誕生したパピーたちは、日々すくすく成長しています。  
今後も海外との連携を強化するなどして、将来にわたり安定した盲導犬の提供を目指します(11ページに関連記事を掲載)

# 視覚障害者の支援のために ひたむきに一筋に歩みます

2021年にSDGsの理念に沿って打ち出した中長期計画は、策定から3年目を迎えました。コロナ禍において協会は、さまざまな工夫をしながら事業を継続し、2022年度は36ユニットの盲導犬を送り出すことができました。今後もwithコロナの時代が続きますが、この3年間で学び、得たことを教訓として、事業を更に発展させていかなばなりません。

3月に開催されたワールド・ベースボール・クラシックでは、侍ジャパンの優勝に日本中が湧きました。選手たちの心をしっかりと捉え、チーム全体を見渡し差配した栗山英樹監督も素晴らしいですが、ベテラン選手が若手に対して、技術だけでなく勝負に向かう心構えまで熱心に教える姿が印象的でした。出場機会のない選手たち

も、やるべきことを地道にやり抜き、さらに大谷翔平という偉大な選手の存在もあって、良い結果に結びついたと感じます。こうしたチームの在り方には、学ぶべき教訓がたくさんあります。

詩人の坂村真民の作品に「一すじに」という詩があります。  
「一すじに 生きたる人の尊さ  
一すじに 歩みたる人の美しさ  
われもまた 一すじに生きん 一すじに歩まん」  
侍ジャパンの選手たちが野球一筋に生き、歩む姿は、人々に力と感動を与えました。協会職員も、盲導犬育成はじめ視覚障害者支援へ向け一筋に生き、歩んでゆかねばなりません。その思いを胸に、本年度も役員一同事業に邁進いたします。



公益財団法人  
日本盲導犬協会  
理事長

井上幸彦

## 日本盲導犬協会の歩み 2023.1.1 ~ 3.31

- 1月13日 ..... 第10回常任理事会
- 2月15日 ..... 第11回常任理事会
- 2月24日 ..... 神奈川訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」
- 3月3日 ..... 島根あさひ訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」
- 3月7日 ..... 第12回常任理事会
- 3月24日 ..... 第4回理事会

▶3月6日 東北東急会主催「第30回東急スプリングコンサート」で訓練士と訓練犬がコンサートを観賞。募金活動も実施しました



↑2月12日 マルエツ板橋南町店で「盲導犬もっと知ってキャンペーン」開催。募金活動のほか、従業員向けに視覚障害者への接客体験も実施

←神奈川訓練センターで「視覚障害者リハビリテーション体験会」を1~3月に3回開催。参加者は白杖歩行や盲導犬歩行を体験しました

### ●各センター活動報告(1月~3月)

(2023年3月31日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	1回	0回	2回
	バビレークチャー	23回	11回	13回
	バビレーウォーキング修了式	2回	1回	1回
	ユーザーフォローアップ	41回	35回	37回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	1回	2回	3回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー	4回		
	短期リハビリテーション	0回	2回	0回
普及推進活動	その他リハビリテーション	169回(134人)	186回(215人)	81回(85人)
	受け入れセミナー	8回	15回	18回
その他(雑誌など)	小・中学生向け実演	10回	22回	11回
	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	18回	21回	25回

### メディア掲載件数

- テレビ・ラジオ 28回
- 新聞 38回
- WEB 155回
- その他(雑誌など) 7回

### 主な放送・掲載

- 1月26日 ..... エキサイトニュース他WEB26件 協会配信リリース「全国一斉盲導犬教室」より関連記事掲載
- 2月1日~4月30日 ..... エフエム岩手「盲導犬育成キャンペーン」として番組でボランティア募集や協会への寄付など呼びかける
- 2月1日 ..... 東京新聞他新聞1紙WEB2件 補助犬のトイレ事情や受け入れについて特集。山口専務理事のコメントを掲載
- 2月9日~20日 ..... 東愛知新聞他WEB2件 愛知県豊橋市でユーザーが市長訪問し、盲導犬への理解促進を訴えた様子を紹介
- 2月11日 ..... TBSラジオ「運見孝之・まとめて!土曜日」に職員2人が出演。補助犬法成立から20年経った現在の課題を解説
- 2月26日 ..... テレビ朝日「二十歳の挑戦」に訓練士が出演。訓練に励む姿や仕事にかけた思いなどを紹介
- 3月6日・9日 ..... 中国新聞他1紙WEB1件 島根あさひ訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」の様子やユーザーの声を紹介
- 3月16日 ..... 読売新聞他WEB1件 盲導犬の歴史や育成頭数、基本的な仕事、受け入れ拒否の課題などを特集記事として掲載
- 3月22日~24日 ..... 読売新聞他WEB4件 協会配信リリース「盲導犬ユーザー受け入れ拒否実態報告」より関連記事掲載

\*協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

# TOPICS!

主なできごとの中から  
ピックアップ

## 盲導犬ユーザーと支援者が一堂に会して 「盲導犬新ユニット出発式」開催

2021年度に新たな盲導犬と歩み始めたユーザーたち。その門出を祝う盲導犬新ユニット出発式が、昨年に続き2か所で開催されました。普段は盲導犬ユーザーと会う機会が少ない支援者のみなさんが、直接ユーザーと顔を合わせて話を聞くことができる貴重な場にもなっています。

2月24日に横浜で開催された神奈川訓練センターの出発式には、対象ユーザー16人中10人が、また3月3日に広島市内で行われた島根あさひ訓練センターの出発式にはユーザー5人が、それぞれ参加しました。支援者らが見守る中、ユーザーからは盲導犬との暮らしぶりや生活の変化、今後の夢などが語られました。

↓島根あさひ訓練センター出発式に92人の支援者らが参加して全員集合!記念撮影では笑顔が満開に(会場:ホテルグランヴィア広島)



ユーザーは「朝4時の散歩で家族に付き添いは頼めないが、



↑神奈川訓練センター出発式には72人が参加。10頭の盲導犬が整然と並ぶ姿に注目が集まりました(会場:新横浜グレイスホテル)

盲導犬なら喜んで付き合ってくれる」「人との関わりが増え、盲導犬が出会いのプレゼントをくれる」と生活の変化を語ります。著名な歌人の一句をまねて「愛犬と散歩をすれば 人が木が光が話かけてくるなり」とあふれる喜びを表現するユーザーも。

支援者へ向けて「小さくてもできることに全力投球して輝いて生きる、その姿を見せることが自分なりの感謝です」とコメントしたユーザーもいて、「こちらが力をもらった」と涙を拭く支援者もいました。

ユーザーと支援者のみなさんの笑顔を力にして、職員一同、今後も盲導犬育成に邁進していきます。

式典の様子は協会公式YouTubeチャンネルでご覧になれます。



## 盲導犬ユーザーの受け入れ実態調査 ユーザーが感じる障壁はこんなところにも

協会は、障害者差別解消法が施行された2016年から、店舗や医療機関などでの受け入れ拒否の実態調査を行っています。今年はユーザー221人を対象に聞き取り調査を実施。その結果、45%に当たる100人が、昨年1年間のうちに盲導犬同伴を理由とした受け入れ拒否の経験があると回答。コロナ禍の前々回は41%、前回は35%と減少傾向でしたが、3年ぶりに増加に転じました。

また、受け入れ拒否以外にも、視覚障害者の活動を阻む壁がさまざまな場面に存在することも分かりました。タッチパ

ネル方式だと操作や注文ができない、路上駐車があって歩きづらい、などです。

身体障害者補助犬法の施行から20年。多様性を認め合うことが重要視される昨今、受け入れ拒否を無くすためにも、法律の周知と視覚障害者への理解促進が急務となってきています。

実態調査報告の詳細は協会ホームページでご覧になれます。



こちらから

# 視覚障害者が暮らしやすい街を作りたい！ 行政との連携強化に努めています

**協** 会では、2021年からSDGs達成期限である2030年までを対象とした中長期計画を定めています。持続可能な盲導犬の貸与と、盲導犬ユーザーが過ごしやすい社会づくりを実現するのが目的です。その一環として、視覚障害者に必要な情報が届いていない現状を改善するため、地域の相談窓口である全国2,000自治体に盲導犬関連資料を毎年配布しているほか、下記のような取り組みを行っています。

仙台訓練センターでは、昨年度「盲導犬ユーザー受け入れ事例検討会」を2回開催しました。宮城県の協力を得て、補助犬に関する県内各自治体の相談担当



⇒2月7日、盲導犬ユーザーと協会職員が豊橋市の浅井由崇市長(右)を訪問、「盲導犬と一緒に暮らしやすい街にしたい」と言葉をもらいました

職員を対象に、宿泊施設での拒否事例を題材としてケーススタディを行ったものです。4自治体8人が参加して合理的配慮について意見を出し合いました。

自治体の首長訪問も積極的に行っています。2月には当協会のユーザーが愛知県豊橋市の市長を初めて表敬訪問し(写真)、盲導犬への理解を訴えました。近隣の学校にも出向いて、地域に暮らす盲導犬ユーザーの存在を子供たちに知ってもらったり、街で出会った時の対応などを学んでもらう機会としました。

また、昨年度は全国の行政職員や相談事業に携わるみなさんを対象に「視覚障害者と盲導犬情報セミナー」を3回開催しました。盲導犬や視覚障害を正しく理解して、窓口対応に役立ててもらうのが目的です。オンライン開催で19団体が参加し、オンデマンド講習にも多くの参加がありました。今年度も6、7、8月に1回ずつ開催予定です(詳細は随時協会ホームページに掲載予定)。

# セブン&アイ・ホールディングス研修会で講演 視覚障害への理解促進とサービス向上へ

**2023** 年2月10、16日両日、株式会社セブン&アイ・ホールディングス(以下、セブン&アイ・HD)主催でグループ会社社員向けに実施された「第1回障害者職業生活相談員フォローアップ研修」に、協会職員と盲導犬ユーザーが講師として参加しました。グループ各事業会社で障害のある従業員の支援を行う相談員のみなさんが対象で、オンラインも含めて延べ95人の参加がありました。

小売店や百貨店等を傘下に持つセブン&アイ・HDは、従業員として働く障害者をはじめ、店舗を訪れる視覚障害者に対しても正しい理解とスムーズな対応ができるよう、日頃から研修を重ねています。

今回の研修では、協会職員が視覚障害の特性に触れながら実際の対応のポイントを説明したほか、一例として、盲導犬ユーザーから寄せられた買い物での困りごとを紹介。店頭での場面を例に、手引きでの誘導や商品説明を行うなど、視覚障害者とのコミュニケーションを実演しました。

会場からは「洋服の色は、どう説明すると分かりやすいか」「弁当の中身はどこまで説明すると良いか」など質問が相次ぎ、視覚障害を理解し、接客と職場の環境づくりに役立てようという社員らの思いが際立つ研修となりました。

誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して、協会は今後ともこうした講演を積極的に行っていきます。



↑東京の新宿区四谷にあるセブン&アイ・HD本社で社員研修。視覚障害のある人へどのように説明すると伝わりやすいか、洋服や弁当を題材に声かけを実践

リニューアルした「声かけパンフ」の配布にご協力ください！！

配布のご協力は、右のQRコードからアクセスまたは「盲導犬サポートSHOP」をご覧ください。

盲導犬総合支援センター  
https://goguideogs.jp/  
盲導犬サポートSHOP  
https://www.gomadouken.net/  
みなさまからの応援は、補助犬育成及び障がい者の社会参加の支援活動に役立ちます。

# 盲導犬育成を支える ボランティア LIFE

# 日本屈指の養鯉場の看板犬に！ テイラーとの暮らしは 毎日、幸せなことばかり

島根あさひ訓練センター  
キャリアチェンジ犬飼育ボランティア ● 面迫さん一家 ● (広島県呉市)



←テイラーを中心に面迫隆さん(左)と真早美さんと一緒に暮らしています。テイラーのお散歩は真早美さん、毎晩の歯磨きは隆さんの日課です

**犬** 好きなこともあり、商業施設で行われていた街頭募金を通して協会を支援していた面迫隆さんと真早美さん夫妻。募金をきっかけに島根あさひ訓練センターを見学した際、引退犬やキャリアチェンジ犬(以下、CC犬)がたくさんいることを知り、その場でボランティアの申し込みをしました。2017年8月から、CC犬のテイラーと暮らしています。

**待** ちに待ったテイラーとの初対面の日。「面迫さんちのテイラーですよ」と言われ、ドアの向こうからトコトコと歩いて登場してきたテイラーの姿は「一生忘れられない光景」という真早美さん。リードを受け取ったその瞬間から嫌がることもなく車に乗り、面迫家へ。「あまりに良い子で、賢くて、驚くばかりでした」

**先** 住犬であるヨークシャー・テリアのなっちゃんがテイラーを拒むことがあり、当初は仲を取り持つのに苦労したと振り返ります。「一緒に散歩をさせたら、仲間だと認めるようになるかも」と協会職員から提

案され、実践。今ではとても仲が良く「17歳になり足元がおぼつかなくなったなっちゃんのことを、テイラーがやさしく寄り添い、かばいながら歩いてくれるんです。テイラーのやさしさを見習わないといけないね、なんて夫婦で語り合っています」

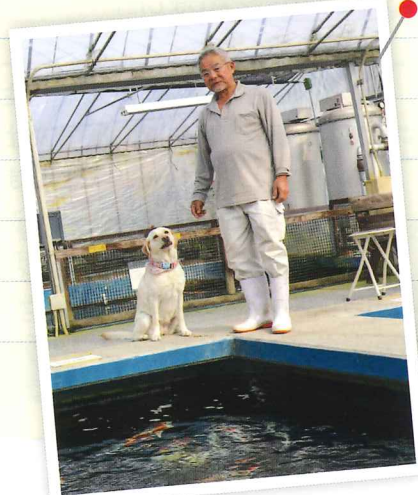
**家** でのんびり過ごすことが好きだというテイラーは、隆さんが営む養鯉場の看板犬になりました。訪問客が来ると挨拶に行き、鯉を飼育している池などへ同行することもあるのだとか。

**年** に一度のお楽しみは、テイラーが子犬時代を過ごしたパピーウォーカーの上廣さん一家との誕生会です。上廣さんとは協会主催の街頭募金活動にボランティアとして参

加した際に出会い、交流を深めてきました。テイラーが生まれた2月20日には毎年欠かさず上廣さんが面迫さん宅を訪れ、お祝いしています。「上廣さんを見るテイラーの目はやさしく、常に笑顔。上廣さんが帰るときには一緒に車に乗って帰ろうとし、車が見えなくなるまで見送っているんです。その姿にちょっと妬けますが、とてもうれしく思います」

**テ** イラーのいない生活は、想像すらできないという面迫さん夫妻。真早美さんが参加している廃校に花を植えるというボランティア活動に、テイラーも参加するようになり、なんと助参加員として認定。ボランティアの面々と地域新聞に掲載されたこともあります。こうして今のまま穏やかな生活を続け、共に元気で長生きをする、それが面迫さん夫妻の今後の目標です。

**テ** イラーのようなCC犬や引退犬が愛情にあふれた「犬生」を全うできることを望みます。一頭でも多くの犬が、幸せになれるように」



←テイラーの誕生日は面迫さん夫婦の結婚記念日でもあり、運命的なものを感じました。今年2月の誕生会には、かつてのPW上廣しおりさん(左)の引退犬ベス(左)も初参加しました

# スタートライン Start Line

みなさんのご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ

2023年2月までの共同訓練卒業生

### ●各ユーザーの紹介項目

- ユーザー名・居住地(盲導犬歴)
- 盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種
- ①共同訓練期間
- ②パピーウォーカー名
- 犬種記号
- LR: ラブラドル・レトリバー
- GR: ゴールデン・レトリバー

## 仙台訓練センター

### エナからデイズへつないだバトン 見守ってくれるみなさんに感謝

**鈴**木さんは10歳頃から視力が著しく低下し、中学3年生の頃からは白杖を使い、電車に乗って一人で通学をしていました。実家で犬を飼っていたこともあり、幼少期から犬が好きで「将来は盲導犬を持ちたい」と望んでいました。

初めて盲導犬歩行の体験をしたのは中学2年生。協会職員が犬と一緒に学校を訪問しました。「障害物を上手に避けながら校内をとて早いスピードで歩くことができ、盲導犬ってすごいなと感じました」。自立したら盲導犬を持つと心に決め、社会人になって再び協会の歩行体験などに参加。その後、貸与の申し込みをしました。

「盲導犬歩行は役割を分担できる点で白杖歩行と大きく違いました。白杖では電柱や縁石など目印を探すことを繰り返し、「目的地に着く」ことだけ

が目標でした。でも、盲導犬は角や段差などを教えてくれるので気持ちに余裕ができ、気温の変化や鳥の声を感知しながら歩くことができます。犬と会話をしながら「目的地までの過程を楽しむ」ようになり、歩行がとても楽しくなりました」

1頭目のエナは、加齢に伴う体力の低下などを考え、悩んだ末に早期引退させることを決意します。しかし、引退が近づくにつれ、寂しくて涙する日々。2頭目デイズとの訓練が始まって、ふ

とした瞬間にエナを思い出してしまい、気持ちが追いついていなかったと振り返ります。そんなある日、エナとデイズと一緒に鈴木さんの夢に現れたのです。「デイズにバトンをつないだのだから、あなたも頑張りなさいよ、とエナに言われているようで。新たな日々を踏み出そうと奮起しました」



**鈴木 祐花さん**  
福島市(2頭目)  
デイズ(♂)LR  
①2022.12.10~12.23  
②酒井 沙織さん

↑援助依頼\*では、周囲の助けがうまく得られず、心が折れそうに。「とても大変だったけれど、一人だとくじけてしまうことも、デイズと一緒に「迷っちゃったね」とおしゃべりしながら失敗を楽しんで乗り越えられる、盲導犬の魅力ってこれだ！と感じました」

デイズは甘えん坊でまじめ。一生懸命ですが不安が強く、当初は訓練士がいなくなるとクンクンと鳴いてしまうことも。緊張から歩くスピードが速くなってしまふことがあり、速度管理に苦労しました。「まずは、私といたら安心だよ、と伝えられるように、部屋で抱っこしたり足の間に座らせたりし

て、向き合う時間をたくさんつくりました」

訓練期間中は、協会主催のパピーウォーカー向けレクチャーにも参加。「ボランティアのみなさんが愛情と責任を持ってパピーを育ててくれている。デイズもエナもたくさんの愛情を受けて育ち、今があるのだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。私たちの生活をずっと見守ってくれていると感じ、頑張ろうと思いました」。また、現在は引退犬飼育ボランティア宅で暮らすエナが、寝るときは相変わらず座布団を占領してエナらしく過ごしていることを知り、「ボランティアのみなさんがいるからこそ、安心して2頭目、3頭目と踏み出せる。本当にありがたいです」と感謝も。

「限りある時間だからこそ目いっぱい楽しんで、引退を迎えるその日まで、デイズが幸せな犬生を送れるよう過ごしていきたい」と胸を弾ませます。

↓職場でのデイズは鈴木さんの足や椅子を枕にして寝るのが好み。リラックスして和やかに過ごすデイズはいつも話題の中心で、同僚とのコミュニケーションも増えました



**船迫 ひかるさん**  
福島県相馬市(2頭目)  
オリーブ(♀)LR  
①2022.12.12~12.23  
②江連 悠子さん

パーチェはとにかく甘えん坊の男の子。いつも私の足の間にきてはおなかをゴロンと見せてきます。しかし、歩きはとてもクール。淡々と歩く姿とのギャップに驚かされます。我が家には柴犬の男の子がいるので仲良くなれるか心配でしたが、お互いすぐに心を開いてくれて、今ではいつも横に並んで日向ぼっこをしています。1頭目の先輩犬ハッピーが残してくれたさまざまな出会いを大切にしながら、パーチェとも歩んでいきたいです。

オリーブは上手に左へ寄って歩こうとしてくれるのですが、ついついハーネスを引っ張ってしまう私。共同訓練ではこの自分の歩きの癖に苦労しました。現在もオリーブの動きを邪魔しないよう意識して歩いています。職場では同僚のみんなに見守られながら、いつも気持ち良さそうに寝ているオリーブ。今年は勤務先で創立記念の式典が開催される予定です。普段はなかなか会えない職場の仲間にオリーブを紹介できるのが楽しみです。

**藤山 美枝子さん**  
宮城県宮城郡(2頭目)  
パーチェ(♂)LR  
①2022.12.10~12.22  
②島村 一秋さん



## 富士ハーネス

慎重なファンに対して、大胆な私。共同訓練ではお互いに助け合いながら歩いて楽しかったことが印象に残っています。晴れの日には自宅の窓際で日向ぼっこ。雨の日にはテンションが低くなり歩く速度が遅くなることのあるファンに、私が声をかけてフォローするなど、少しずつ彼女らしさが分かってきました。最近では子供たちの授業参観や卒業式など

に、ファンも家族の一員として参加しています。一緒に旅行をすること、その計画を立てることも楽しみです。

**河部 千鶴さん**  
愛知県春日井市(1頭目)  
ファン(♀)LR  
①2022.12.12~2023.1.11  
②岸田 麻里子さん



無理なく、続けられる  
**NATURALLY PLUS ナチュラループラス®**  
The Global Healthcare Company  
私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。

株式会社 ナチュラループラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F  
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>

\*援助依頼：共同訓練のひとつ。通行人に道の状況を尋ねながら目的地へ向かう

### 神奈川訓練センター

**齋藤 静江さん**  
埼玉県鴻巣市  
(6頭目)  
**ナギ**(♀)LR  
①2022.11.21~12.2  
②川喜田 一広さん



初対面の時は、あまり近寄ってくるのなかったナギ。我が家に来て3か月ですが、今では甘えたり、はしゃいだり、やんちゃぶりを発揮しています。とてもメリハリのある子で、ハーネスを着けて一歩外に出ると犬が変わったようにすっかりお仕事モードに。「ナギ、ありがとう、グッドだね」と思わず声がでます。ナギと出会って、コロナ禍で外出が思うようにできなかった3年間を取り戻したい！旅行に、コンサートに…と夢が広がります。

**星 博之さん**  
群馬県高崎市  
(1頭目)  
**レニー**(♂)GR  
①2022.11.21~12.16  
②小田切 清人さん



待ちに待った盲導犬との生活。しかし、当初は想像以上に人好きなレニーが外出先で興奮してしまい、うまく鎮めることができずに戸惑いました。しばらくして、都内へのお出かけが初めて大成功。それからは神戸や京都などいろいろな場所へレニーと一緒に行ききました。先日は温泉旅行も満喫。外出を重ねるたびにレニーとの歯車がかみ合っ、阿吽の呼吸が生まれているのを感じています。新たに始まったレニーとの日々を楽しみながら歩いていきます。

**金子 聡さん**  
東京都板橋区  
(3頭目)  
**ナイア**(♂)LR  
①2023.1.9~1.25  
②丸橋 剛さん



イーグルは遊びが大好き。一緒に遊んでいると飛び跳ねて全身で喜んでくれるので、私も自然と笑顔になります。デビューしてすぐに初めての場所へ出かけましたが、イーグルは動じずに落ち着いていてびっくり。日々の生活においてもスーパーの店内などで人とすれ違っても冷静にしっかりと歩行してくれるので、安心できます。30年以上にわたり続けている小中学校での講演活動へ、これから共に参加するのも楽しみです。

1月9日、待望の3代目とご対面。その名もナイア、ハワイ語でイルカのことだとか。このところヨットやサーフィンなど海でばかり遊んでいる私にぴったりなアロハな犬。見た目はマッチョなおっとりしていて甘えん坊、ギャップがあるところがカワイイです！ハッピーリタイアまでの7年半、ひとつでも多くのビーチに繰り出そうと決めました。どこかの海でお揃いのアロハシャツを着たユニットを見かけたら、どうぞご声援ください。

**堤 江美子さん** 大分市(5頭目)  
**イーグル**(♂)LR  
①2023.2.1~2.16 ②安田 耕市さん



心がふれあう

# Heart to Heart

視覚障害や盲導犬について理解を深め  
盲導犬ユーザーが生き生きと  
安心して暮らせる社会を目指して  
心のバリアフリーを広げる活動を紹介します

## 子供たちの「人に寄り添う心」を育てる ドラッグストアモリ全350店舗に募金箱設置



福岡県朝倉市に本社を置く株式会社ドラッグストアモリは、九州四国を中心に350店舗を展開する企業です。1983年に漢方相談専門の森薬局として創業。以来、「お客様との会話による健康相談こそ最大の地域貢献」との信念のもと、地域のみなさんに寄り添い続け、2016年に盲導犬育成への協力をスタートさせました。

↑2月、日本盲導犬協会への寄付金贈呈式を福岡本社で。左から協会員2人、ドラッグストアモリの森信会長、店舗スタッフ代表のみなさん。「今後も協力させていただきます！」

考えた同社は、2016年に店頭募金を始めました。現在では全店舗に募金箱が置かれていて、2022年までの募金総額は約2,900万円にのぼっています。

- 店頭での接客が支援のきっかけに

盲導犬育成への支援が始まったきっかけは、店舗での接客場面にあったといいます。「目の不自由な方へのお買い物サポートはなかなか難しく、何かお手伝いできないかと模索していました。そんな中、盲導犬の存在に出会ったのです。同時に、盲導犬の育成には多額の費用がかかることも知りました」。盲導犬育成を支援することが、視覚障害がある人の買い物を助けることにつながると

- 社内で高まる盲導犬への関心

同社では毎年協会への募金贈呈式を行なっています。今年参加した社員のみなさんからは「盲導犬が生まれてから亡くなるまでの費用は、募金により成り立っていることを知りました。店頭の募金はとても大切ですね」「店頭で募金箱を見たお子さんが、これ何？と親御さんに尋ねている場面をよく見かけます」「募金贈呈をきっかけに盲導犬のことをさらに学びました。社会貢献につながっていると実感」「実際に盲導犬と歩いて、

(杖よりも)盲導犬と一緒にいるのはとても安心なことと実感しました」など多くの声が届いています。

- やさしい気持ちが育っていくように

贈呈式の際、ドラッグストアモリの森会長からは「盲導犬の姿をした募金箱やシールは、何より子供が興味を持ちます。まず募金箱を見てかわいいと興味を持ち、そういった興味からいろいろなことを知り、やさしさが生まれる。会社としてもやりがいを感じます」というコメントがありました。

同社は、地域学校での講演、日本赤十字社と地元自治体の地域献血、九州の自然災害に関する募金など多岐にわたって社会貢献を実施しています。「子供たちの人に寄り添うやさしい気持ちを育てるためにも、盲導犬に支えられている方々のためにも、今後も盲導犬育成に協力させていただきます」。創業時から地域と社会への貢献を続けてきたドラッグストアモリ。その信念は子供たちの心にも引き継がれようとしています。



←全店舗のレジ横に置かれた募金箱。「盲導犬の姿をした募金箱は、子供たちのやさしい気持ちを引き出してくれます」

# 2023年度 事業計画・収支予算

## 盲導犬育成事業

- 1 視覚障害者への歩行指導と盲導犬貸与
  - ・35ユニットの盲導犬を育成
- 2 犬の飼育及び訓練
  - ・候補犬100頭以上を訓練
  - ・100頭以上の子犬を安定確保する。国内外の協会や関係団体との連携を強化
  - ・健康理由・業性理由によるキャリアチェンジ犬(CC犬)の減少
  - ・100頭をパピーウォーカー(PW)に委託、安全かつ健康なパピーを育成
  - ・15年目の島根あさひ盲導犬パピープログラムは4頭で実施。より効果的、効率的なプログラムを検証・検討
  - ・盲導犬の引退は30頭。富士ハーネス引退犬練及び引退犬飼育ボランティアと連携し、引退犬のQOL向上に努める
  - ・ケネル業務の質の向上と効率化
  - ・大学獣医科病院・専門医における医療協力体制の拡充や緊急医療体制の強化
- 3 盲導犬ユーザーへのフォローアップ(FU)
  - ・1年以内のアフターケアの充実を図りながら、年1回の定期FUを実施。拠点ごとに盲導犬新ユニット出発式を実施
  - ・歩行の安全性確保のための問題解決型FU、より快適な歩行のための課題解決型FUを実施
  - ・犬年齢6歳時ユーザーを対象に6歳時コミュニケーション会を実施。犬の加齢に関する知識の提供、引退に向けた心構えの提示
- 4 盲導犬訓練技術の向上
  - ・スキルマップや新設の訓練士資格制度等を活用し、訓練士が習得すべき技術、経験を明確化する
  - ・訓練士間の相互評価や訓練犬の拠点移動など、拠点間の交流を活発化させる
- 5 各種研修会への参加
  - ・協会内外の各種研修会等への参加、自己研鑽、自主研究を奨励
- 6 犬舎・施設改修整備
  - ・神奈川訓練センターの犬舎棟改築に着手

## 盲導犬歩行指導員等育成事業

- 1 全国盲導犬施設連合会認定資格の取得
  - ・盲導犬歩行指導員資格試験を職員が受験
- 2 盲導犬歩行指導員育成課程の実施
  - ・有期契約職員として、協会が運営する訓練士学校の学生を4名採用
  - ・盲導犬准訓練士資格、盲導犬歩行指導員資格の取得に向けて職員複数名を養成

## 調査研究事業

- 1 盲導犬の人工繁殖・育種技術の研究継続及び疾患改善へ向けた調査
- 2 大学との研究協力・連携

## 視覚障害支援事業

- 1 盲導犬歩行についての理解促進
  - ・視覚障害リハビリテーション施設、視覚支援学校、当事者団体向けの盲導犬体験歩行会を100回、盲導犬説明会を30回開催
- 2 ユーザーコミュニケーション
  - ・盲導犬ユーザーへのアンケート調査により、課題を早期発見してFUを実施
  - ・盲導犬6歳時コミュニケーション会を実施
  - ・災害時やコロナ禍においてユーザーの安否確認や生活状況の調査を行う
- 3 視覚障害者在宅生活訓練
  - ・全拠点で1,400コマの在宅訓練を実施
- 4 視覚障害リハビリテーション相談
- 5 短期視覚障害リハビリテーション
  - ・スマイルワン仙台で5回、神奈川訓練センターで1回、富士ハーネスで1回開催
- 6 視覚障害児キャンプ
  - ・スマイルワン仙台で開催
- 7 関係団体との連携
  - ・当事者・支援者向け、行政職員向けの動画配信やオンラインセミナーにより理解促進をはかる
- 8 各種研修会への参加
- 9 生活講習会の開催
- 10 「パートナーズ」と「盲導犬ユーザー通信」の発行
- 11 視覚障害リハビリテーション事業に関する規程の運用開始
- 12 盲導犬健康診断費用一部協会補助制度の開始

## 広報・普及推進事業

- 1 盲導犬や視覚障害の理解促進活動
  - ・事業者等に対し視覚障害者への適切な情報提供や、移動支援、障害の捉え方についてセミナーを実施
  - ・ユーザー在住地の首長訪問や行政との連携で、住みやすい街づくりへの協力を依頼
  - ・大型商業施設や街頭等で盲導犬デモンストラレーションを実施するほか、富士ハーネスで見学者を受け入れ、盲導犬事業への理解を促進
  - ・病院・福祉施設等を訪問し、患者・入所者への動物介在活動を実施
  - ・第29回チャリティゴルフ大会を開催
- 2 若年層への教育活動
  - ・小中学校を訪問し、盲導犬や視覚障害に関する正しい情報・知識を提供
  - ・教科書出版社への情報提供を行う
- 3 アドボカシー活動
  - ・盲導犬ユーザーから訴えのあった受け入れ拒否事例に対し、問題解決の対応を行う
- 4 広報
  - ・マスメディアでの広報活動

## ●2023年度予算 (単位:円)

科目	2023年度	前年度
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産等運用益	20,000,000	9,000,000
受取会費	254,000,000	247,000,000
事業収益	31,880,000	33,100,000
受取補助金等	29,710,000	32,470,000
受取寄付金	984,290,000	918,230,000
雑収益	120,000	200,000
経常収益計	1,320,000,000	1,240,000,000
(2) 経常費用		
盲導犬育成事業費	464,714,000	469,570,000
盲導犬歩行指導員等育成事業費	46,430,000	6,200,000
調査研究事業費	23,250,000	23,250,000
視覚障害支援事業費	107,340,000	75,580,000
広報・普及推進事業費	233,640,000	200,270,000
国際事業費	10,980,000	6,600,000
訓練センター管理費	168,369,000	146,920,000
事業共通費(減価償却費等)	73,000,000	72,000,000
公益目的事業費計	1,127,723,000	1,000,390,000
法人管理費	192,277,000	239,610,000
経常費用計	1,320,000,000	1,240,000,000
当期経常増減額	0	0
2. 固定資産等投資活動増減の部		
固定資産等投資活動収入	0	0
固定資産等投資活動支出	704,000,000	503,470,000
固定資産等投資活動増減額	△704,000,000	△503,470,000
当期増減差額	△704,000,000	△503,470,000

- ・デジタルマーケティングを活用し、ホームページやWEBコンテンツを拡充。児童、教育関係者向け動画サイトを開設
- ・会報誌「盲導犬くらぶ」を年4回各5万部発行・発送
- ・盲導犬や視覚障害に関する理解の実態を調査し、データを活用した広報活動を展開
- ・情報管理の徹底とリスク管理体制の強化

## 関係団体協力事業

- 1 国内外各種盲導犬関連団体との連携
- 2 各種視覚障害リハビリテーション関連団体との連携強化

## 国際事業

- 1 海外他団体との育成犬を盲導犬として認定し「盲導犬使用者証」を発行、及び海外からの旅行者への「期間限定証明書」の発行
- 2 国際盲導犬連盟(IGDF)への理事及び査察員の派遣。IGDFカンファレンス及び繁殖ワークショップへの職員派遣
- 3 次世代の国際担当養成のため、海外盲導犬育成団体に職員を派遣

## その他

- 1 未来構想推進(井上ビジョンの展開)
  - ・東京大学盲導犬歩行学連携講座において各種研究活動を行う
  - ・東京都心に盲導犬取得や視覚リハビリテーション等の相談拠点を設置
- 2 人材育成
- 3 災害支援
  - ・日本盲人福祉委員会の東日本大震災被災者調査や大災害時の視覚障害者支援に協力
- 4 協会ICTインフラの整備と活用
- 5 危機管理体制の再構築

# 委託しました

父犬	母犬	子犬
父犬ワトソン(LR) × 母犬キアラ(LR)		ハナビ♀ 金安 正記さん ヒューマ♂ 寺口 和幸さん ホノ♀ 東 晴美さん ホープ♂ 大平 晃市さん ホルス♀ 森重 大作さん ヘレン♀ 菊池 潤一さん ホイミー♀ 羽鳥 陽祐さん ホーマー♂ 阿部 匡志さん
父犬ドミノ(GR) × 母犬バーニー(GR)		フェリシア♀ 井上 優香さん ファビオ♂ 稲田 定博さん フィオナ♀ 石川 かおりさん ファソラ♂ 本宮 透雄さん フロド♂ 菊谷 嘉之さん フィー♀ 森 久容さん フロウ♂ 松永 往伯さん
父犬モーガン(GR) ※ × 母犬イルア(GR)		ガクト♂ 高橋 由枝さん ジュラル♂ 佐藤 昭平さん グラ♀ 柴田 俊英さん グレース♀ 井上 稔さん ギフト♂ 川畑 広子さん ガッティ♂ 小林 裕さん
父犬ユオン(LR) × 母犬ルーティ(LR)		イリス♀ 齋藤 恵美さん イズモ♂ 菅野 友絵さん

## 引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
リンゴ♀	船迫 ひかるさん	山本 和宏さん	2022.12.12
エクルス♂	金子 聡さん	坂田 省吾さん	2023.1.9
イールド♀	藤原 幸恵さん	調整中	2023.1.31
イアル♂	堤 江美子さん	倉田 博美さん	2023.2.1

## 亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
アンドレ♂	村上 隆さん	浅野 真弓さん	2023.1.3
カリテ♂	神崎 好喜さん	橋之口 泰央さん	2023.1.5
プライム♀	望月 敏彦さん 望月 操さん	安井 正憲さん	2023.1.24
ホビー♂	酒井 正信さん	上田 かおりさん	2023.1.25
マーディ♂	伊藤 誠英さん	池西 倫明さん	2023.2.19
ランブル♂	林 東植さん	永瀬 脩さん	2023.3.3
リック♂	西島 勇一さん	向 彩佳さん	2023.3.4
アイリス♂	—	木崎 久美さん 佐野 康治さん	2023.3.4
ハッピー♀	藤山 美枝子さん	—	2023.3.9

**表紙写真の  
パピー(子犬)たちは…**

協会は、海外の盲導犬育成団体に協力を仰ぎ、凍結精液を輸入しています。今号の表紙を飾るパピーのなかには、それらを使用して日本国内で人工授精を行い、誕生したパピーもいます。

繁殖事業においては、協会がこれまでに築いたネットワークを活かして新たな血統を導入するなど、さまざまな選択肢を模索しながら果敢にチャレンジしています。

今後も、良質な盲導犬を一頭でも多く育成できるよう業務に励んで参ります。

# みなさんに 支えられて

2022年12月11日～2023年3月10日

犬種記号  
LR/ラブラドル・レトリバー  
GR/ゴールデン・レトリバー

# 生まれました

2023.1.18 誕生

オス 3頭  
メス 2頭  
父犬カーロ(LR) ×  
母犬ウバ(LR)

2023.1.23 誕生

オス 3頭  
メス 4頭  
父犬トーマス(LR) ×  
母犬グロリア(LR)

## 盲導犬育成状況

合計頭数…715頭(2023年4月5日現在)

委託前パピー	9頭	繁殖犬	48頭
パピー	101頭	PR犬	18頭
訓練犬	63頭	引退犬	165頭
盲導犬	253頭	繁殖引退犬	58頭

みなさんと協会をつなぐ

# ハーネスひろば

みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します



**昨**年、仕事帰りにホームに並んで電車を待っていたのですが、列から外れた場所に盲導犬を連れての方がいました。電車が到着してドアが開き、私が着席してからその方が乗車しました。「一緒に並んだら迷惑」と考えて最後に乗られた様子でした。すぐに私から声かけをして立ち上がり、その方に着席してもらったのですが、協会の会員になっていたからできた行動のような気がします。

利用していた駅は人も多いし、盲導犬を連れて歩くのも大変だと思います。身体に障害があっても暮らしやすい世界がもっと広がることを願っています。

神奈川県 MIKEさんより

**「**人でも多くの目の見えない・見えにくい方が、行きたい時に、行きたい場所へ」…そんな思いで、妻は盲導犬ヴォイスと共に、島根県<sup>おおちぐん</sup>邑智郡<sup>おおなんちよう</sup>邑南町の社会福祉協議会が昨年立ち上げた団体の仲間と、盲導犬の普及活動をしています。

私たちが住んでいる田舎町では盲導犬を見たことのない人が多かったのですが、子供たちを中心に盲導犬や障害について少しずつ理解が深まってきたと感じています。

行っているこの活動が少しでも実を結び、地域での共生社会が一日も早く実現することを心から願っています。

島根県邑智郡 岩谷武延さんより

## 編集室より

障害者基本法では「障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため」として、毎年12月3～9日を障害者週間に設定しています。取り組みのひとつとして、内閣府では作文とポスターを毎年募集しています。昨年度は、盲導犬を描いた水出向日葵<sup>みずいでひなた</sup>さんの作品が、中学生のポスターで最優秀賞に選ばれました。

水出さんは「目の不自由な人が駅を歩いているところを見ました。大きな犬を怖がっている人も周りにもいました。誰もが障害のある人を理解して優しく接することのできる社会でありたいと思い、描きました」(内閣府ホームページより)とコメントしています。

未来を担う子供たちをはじめ、多くみなさまに、盲導犬や視覚障害者の存在をより身近に感じ、関心を持ってもらえるよう、私たち協会もさまざまな普及活動に取り組んでいきます。



左は内閣府令和4年度「障害者週間のポスター」中学生区分 最優秀賞受賞作品「自由に動ける社会へ」、右は作者の水出向日葵さん

●『盲導犬くらぶ』の感想やご意見、盲導犬との出会いやエピソードなどを盲導犬くらぶ編集室までぜひお寄せください。1通1通のお便りが私たちの大きな励みとなります。

●あて先  
公益財団法人日本盲導犬協会 盲導犬くらぶ編集室  
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F  
FAX:03-5452-1267 e-mail: info@moudouken.net

**intage**  
Know today, Power tomorrow

株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ  
<http://www.intage.co.jp/>



キューモニター募集  
<https://www.cue-monitor.jp/>



お客様からご注文いただいた商品1袋につき1円を  
いちえん あいききん  
『一縁のeye基金』として積み立て、  
その一部を盲導犬育成支援に活用しています。



あなたから始まる次代への健康物語

**わかさ生活**